

【競技規則】



作成：2026年7月20日
審判委員会



第 2 章

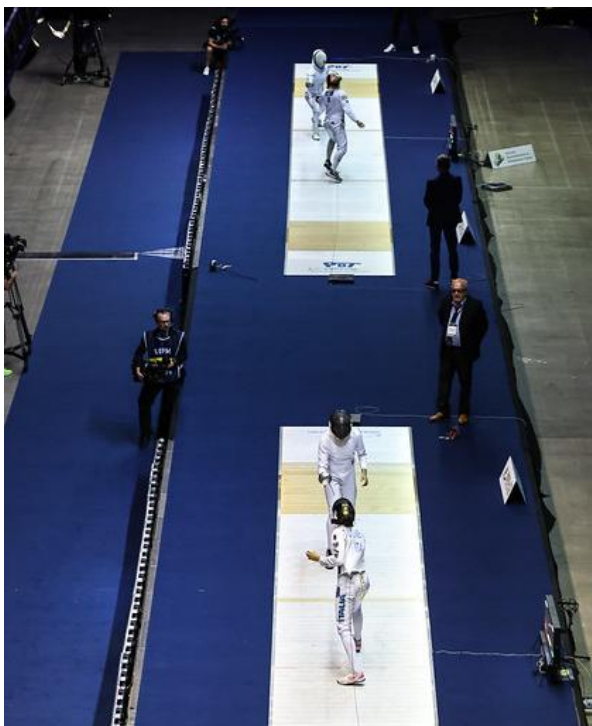
【 競技規則 】



Ⅱ 競技規則

1 フェンシング

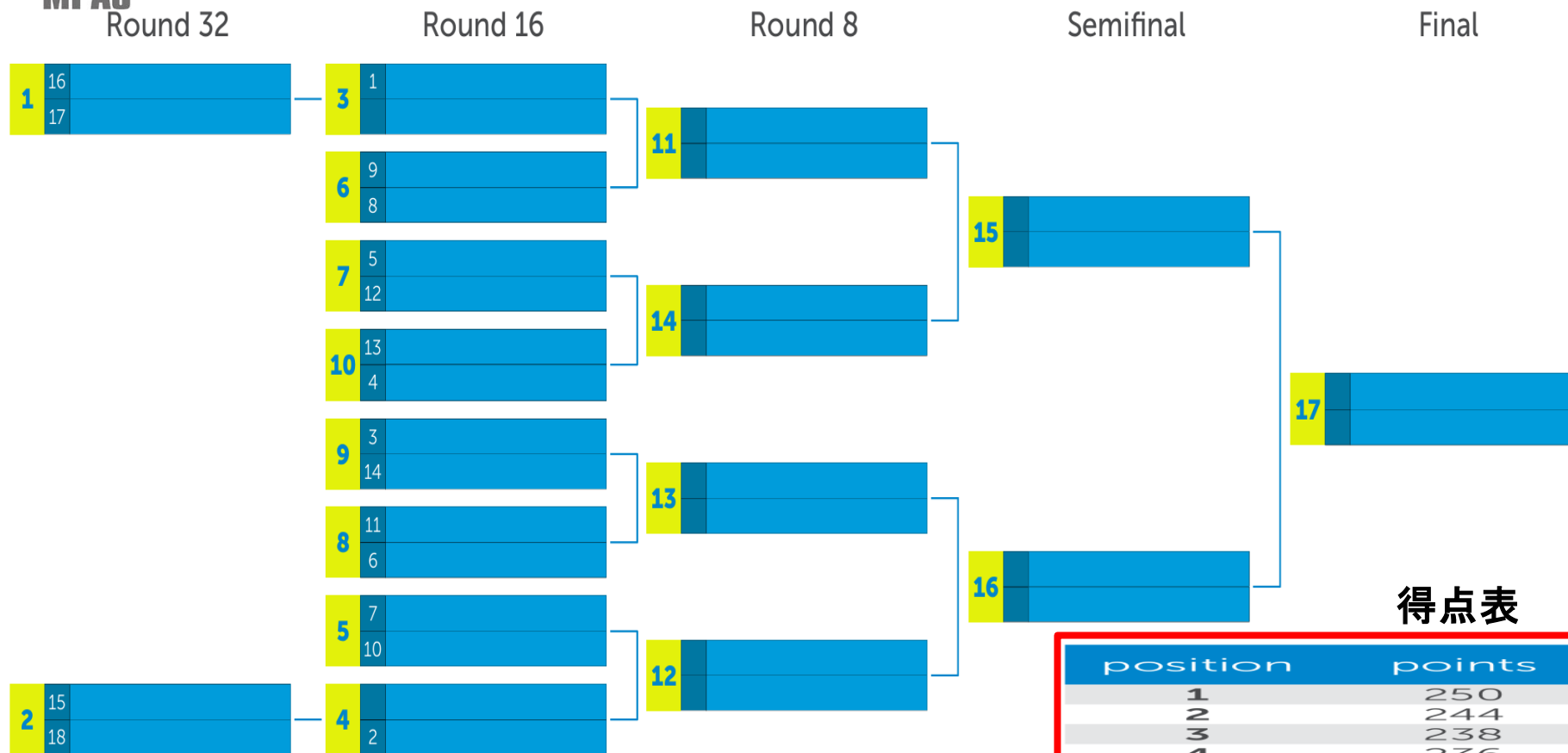
(1) 競技



- ・ ランキングラウンド：1分1本勝負総当り戦
36名参加の場合の得点：1勝5点
勝率70%=250点
- ・ シーディングラウンド：セミファイナル進出36名で実施
シーディングラウンドの順位はSF・F両方に使用
1分間1本勝負総当り戦（得点は無し）
- ・ ダイレクトエリミネーション
1分間5本先取でのトーナメント戦
得点：順位によって得点を付与



(2) ダイレクトエリミネーション



得点表

position	points
1	250
2	244
3	238
4	236
5	230
6	228
7	226
8	224
9	218
10	216
11	214
12	212
13	210
14	208
15	206
16	204
17	198
18	196



(3) 準拠すべき事項

- * FIEユニフォーム・マスク・用具（FIE規定）を使用
※女性には胸当てを使用する
- * 審判員や相手選手に対して敬意を持つ
- * 競技進行を妨げる行為を行わない
- * 名前やNFコードが頭髪で隠れたり、剣に絡んだりしない様に頭髪を結ぶ

(4) ペナルティが課せられるケース

- * 剣及びボデーコードを各1本でピストに上がる (Y)
- * 剣又はボデーコードが機能しない (Y)
- * 剣の曲がり量が1cm以上ある (Y)
- * 試合中、剣を持たない手で相手の攻撃を妨げる (R)
- * 攻撃の際に、相手に激突する (Y)
- * 対戦終了後に握手をしない (R)
- * 審判の指示に従わない (Y)
- * 会場の秩序を乱す (Y) ※F競技を通じて有効

※Yは同一マッチで2つ目は累積R



(5) 審判員として知っておくべき事項

* エペ剣の規定

合計重量：770 g 以下

全体の長さ；110 cm 以下

750 g の重り：許容差 ± 3 g (747～753g)

1.5mm ϕ イントゲージ：許容差 ± 0.05 mm (1.45～1.55mm)

0.5mm ϕ イントゲージ：許容差 ± 0.05 mm (0.45～0.55mm)

※試合中の対応

* 前のラウンド（ピスト）では、問題がなかった！

* しかし、750g 又は 0.5mm でランプが点く！！

ウェイト・ゲージには許容差が認められているので、
不要な抗議を受けぬよう、慌てず対処する。

第1の違反グループ (マッチに有効)	Article	1回目の 違 反	2回目の 違 反	3回目以降の 違 反
衣服/装備が適合していない、2本目の武器またはボディワイヤーがない	2.4.2 iii 2.7.3 i	イエローカード	レッドカード	レッドカード
フェンサーがレフリーの最初のコールに出席しなかった	2.4.4 iii) 2.7.3 i)			
レフリーが「停止」をコールする前にマスクを取り外す	2.4.4 ix) 2.7.3 i)			
許可なくピストを離れる	2.4.4 xi) 2.7.3. i)			
試合の中断を不適切に引き起こす、または長引かせる	2.4.5 vii) 2.7.3. i)			
電導ピストでポイントを突き武器を曲げたり、引きずったり、電導ピストで武器をまっすぐにする。	2.4.7 ii) 2.7.3. i)			
相手を揺さぶるショックを与えるフレッシュ攻撃(*)	2.4.7 iii) 2.7.3 i)			
押し合いへし合い、乱闘、乱暴な動き、暴力による打撃、ガードによる打撃、マスク装備の乱暴な扱い(*)	2.4.7 ix) 2.7.3 i) or 2.7.3 ii)			
相手に背を向ける(*)	2.4.9 ii) 2.7.3 i)			
電気機器に触れたり、つかんだりする	2.4.10 ii) 2.7.3 i)			
攻撃を避けるためにコルアコルを故意に起こす(※)	2.4.7 vi) 2.7.3 i)			
攻撃を避けるためにゲレンデを離れる	2.4.11 iii) b) 2.7.3 i)			
レフリーに従うことの拒否	2.7.1 ii) 2.7.3. i) 2.7.3. iii)			
不当な抗議	2.7.1 ii) 2.7.3 i)			

第2の違反グループ	Article	1 st Offence	2 nd Offence	3 rd & Subsequent
担当医が確認していない負傷の主張による試合の中断	2.4.16 iv)	レッドカード	レッドカード	レッドカード
武器のチェックマークがない(*)	2.4.2 iv			
エペ剣のグリップまたは保持が正しくない	2.4.6 iii)			
剣を持つ以外の手・腕を使う(※)	2.4.10 i) 2.7.3 ii)	レッドカード	レッドカード	レッドカード
相手に当たらない故意のヒット(*)	2.4.14 i) d)			
危険、暴力的、または復讐的な行動、ガード、柄頭、マスクで叩く	2.4.7 ix)			

第3の違反グループ (競技会に有効)	Article	1回目の 違 反	2回目の 違 反
武器のチェックマークの偽造、装備の意図的な改造(※)	2.4.2	レッドカード	失 格
故意に順番を入れ替える	2.7.3 ii		
欠陥のある半身プロテクターを着用する、または着用していない	2.4.2 iii) e)		
競技開始時にレフェリーが1分間隔で3回のコールを行っても現れない。	2.4.4 ii) 2.7.3 iv)	失 権 (1)	
ピスト内の秩序を乱す者	2.7.1 ii)	イエローカード (4)	除 外 (3)

第4の違反グループ	Article	1回目の 違 反	2回目の 違 反
機器による明らかな不正行為	2.4.2	失 格 (2)	
スポーツマンシップに反する。共謀して利益を得たり対戦相手に加担する。	2.7.1 iii		
意図的な残虐行為	2.7.1 iv		
不誠実なフェンシング(*)	2.7.1 ii		
試合中に通信の受信を可能にする電子通信装置を装備したフェンサー	2.4.2 v) c)		

第5の違反グループ	Article	1回目の 違 反	2回目の 違 反
ナショナルカラーの腕章を着用していない	2.7.2 iv)	レッドカード	---
彼等の名前とNFコードの表示がない	2.7.2 iii)		
UIPM ロゴパッチがない、または配置が間違っている	2.7.2 v)		
敬礼や握手を拒否する	2.7.1 i)		ブラックカード (1)

ペナルティテーブルコメント:

(*) - 五種競技選手が過失で得点したヒットの取り消し

イエローカード-警告、マッチに有効

レッドカード-第2.7.2条b)に規定された規定に従って

ブラックカード-失権、失格、または除外

1) イベントからの排除

2) 競技からの失格またはチャンピオンシップからの深刻な場合

3) 除外=競技からの失格、またはチャンピオンシップからの深刻な場合

4) 深刻なケースでは、レフリーは直ちに退場させることができる



※ 各フェーズでのペナルティ適用要領

・ ペナルティは次の通り適用します。

- a) 警告 - **黄色カード**で示され、審判が違反した選手を特定します。選手は、この時点で既に違反があれば、より厳しいペナルティが課されることになります。
- b) 赤カード - 審判が違反した選手を特定するために使用します。
 - (1) ランキングラウンドでは、近代五種（MP）ポイントが**10点減点**されます。
 - (2) シーディングラウンドでは、累積勝利数から**1勝が減**られます。
 - (3) ダイレクト・エリミネーションでは、制裁を受けた選手に対して**1回のヒット**が与えられます。



競技役員

(1) フェンシングディレクター

LOCは、フェンシングディレクターを任命しなければならず、その責任者は以下を担当します。

- ・ フェンシング競技の全体的な正しい実施。
- ・ レフリーの決定に対する口頭での抗議の決定。
- ・ 審判から要請された場合、競技者および観客をイベントから除外する。
- ・ 第2.2.2条から第2.2.9条に規定されている他のすべての当局および補助機関の監督。



(2) 審判員（ピスト毎に1人）

各ピストにはレフリーが任命され、必要に応じて2人のグラウンドジャッジが補佐することができます。フェンシングディレクターは、代理を任命しなければならない。オリンピックと世界選手権では、審判はUIPMまたはFIEによって認められたエペの国際審査員の中から選ばれなければなりません。

レフリーは、以下の責任を負います。

- ・ピストを移動しながらフェンシングの局面や審判器の電光表示に合わせて、試合を指揮する。
- ・五種選手を呼び出す。
- ・ヒットの有効と無効を判定する。
- ・各試合の開始時及びアイテムが変更の都度、各五種選手の武器、装備、衣服を確認します。
- ・電気機器の適切な機能を監督し、機器を検証し、必要に応じて、またチーム代表者または五種選手の要求に応じて障害を特定する。
- ・自身が担当する試合の秩序を維持する。
- ・五種選手にペナルティポイントを与えるか、競技から除外し、フェンシングディレクターが観客を含む他の出席者の排除を要求することにより、五種選手を罰する。除外は、警告の有無にかかわらず発生する可能性があります。
- ・プールシートに失権または失格のケースを記録する。五種選手にも通知する必要があります。



(3) グランドジャッジ（必要に応じてピスト毎に2人）

グラウンドジャッジは、武器を持った以外の腕の使用やフェンサーによる無効な表面への打撃についてレフリーに通知する責任があります。

(4) プールシート記録員（必要に応じてピスト毎に1人）

対戦結果を記録する。

(5) タイム計測員（必要に応じてピスト毎に1人）

対戦時間を測定する。

(6) ダイレクトエリミネーションフェーズ

・コールエリア武器審判（2名）：

コールエリアで服装、ポイントの状態、ポイントの重量、予備道具をチェックする2人のコールルーム機器ジャッジは、五種選手が試合前にピストに上がる準備ができていることを確認する責任があります。

・アシスタント審判（4名）：

4人のアシスタント審判は、競技進行を円滑に行うため、五種選手がピストに入る前にエペ剣等をチェックする。



2 オブスタクル

(1) 競 技

- ・ **長さ70m**のコースに **8つの障害物**を設置
- ・ 6つの障害は固定、残り **2つ**の障害は、**予選**及び**セミファイナルのテクニカルミーティング**において**抽選**
- ・ レースはA／B、2レーンを使用
- ・ エントリータイムの遅い順に競技する
- ・ タイムの遅い選手がAレーンで競技を行う

※ユースカテゴリーの障害物は固定



(2) ウォームアップ

- ・ **予選は、最低20分間設ける**
- ・ **最初の競技開始時刻の60分前にオープン**
- ・ **他の選手がレーンを使用中は、使用を待つ**

(3) 65.00秒 = 250点 (0.33秒±1点)

例：35.00秒 = 340点

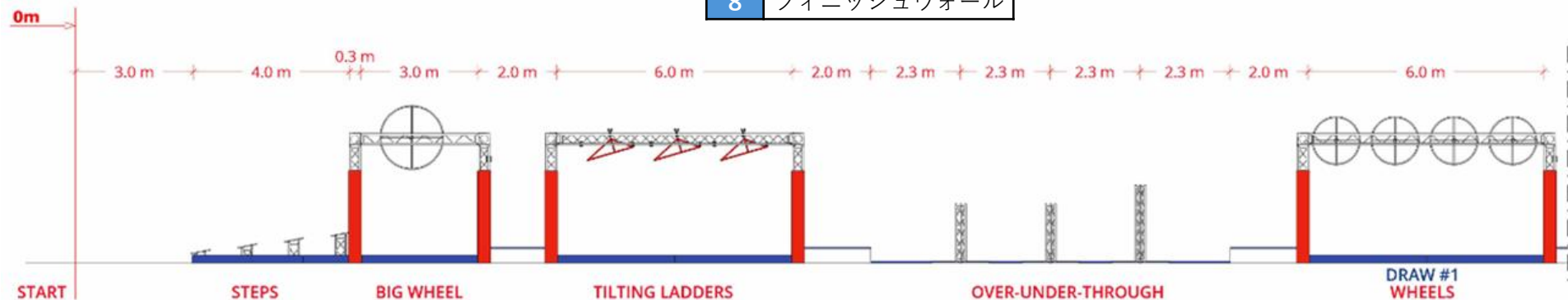


シニア・ジュニアの競技会

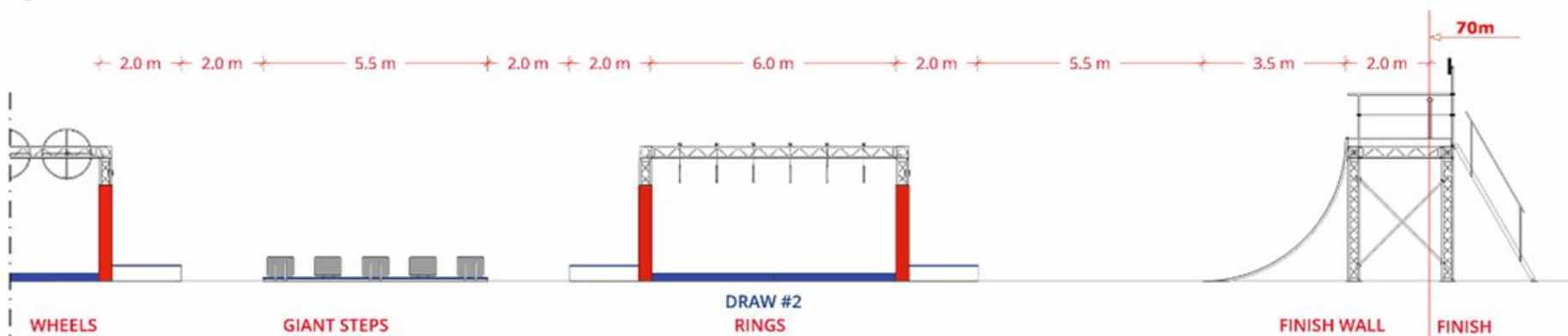
	障 害 物
1	ステップ
2	ビッグホイール
3	ティルティングラダー
4	オーバーアンダースルー
5	抽 選 # 1
6	ジャイアントステップ
7	抽 選 # 2
8	フィニッシュウォール

抽 選 # 1
ホイール
フライングフープ
アセンションバー

抽 選 # 2
リング
クライビングホールド
スインググローブ



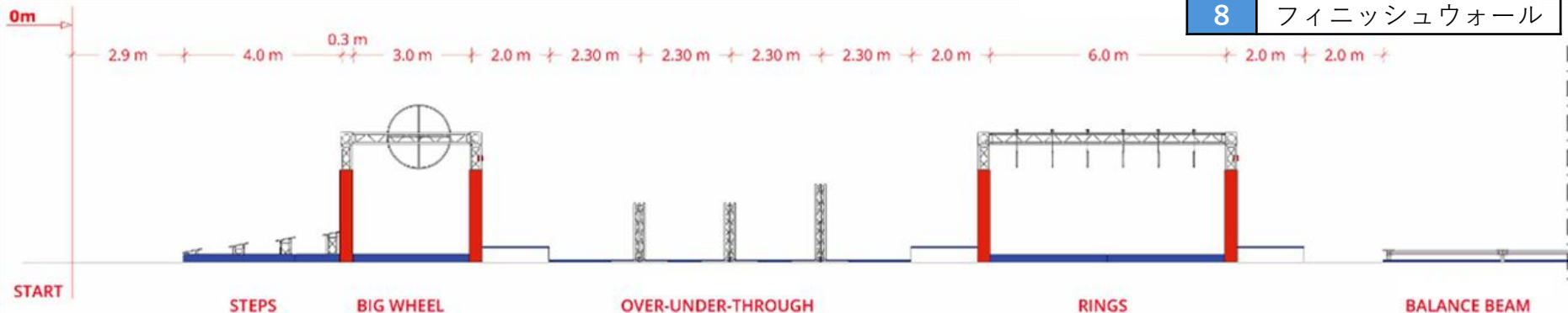
HACK 1 ELEVATION - 1
D 3 scale: 1:100



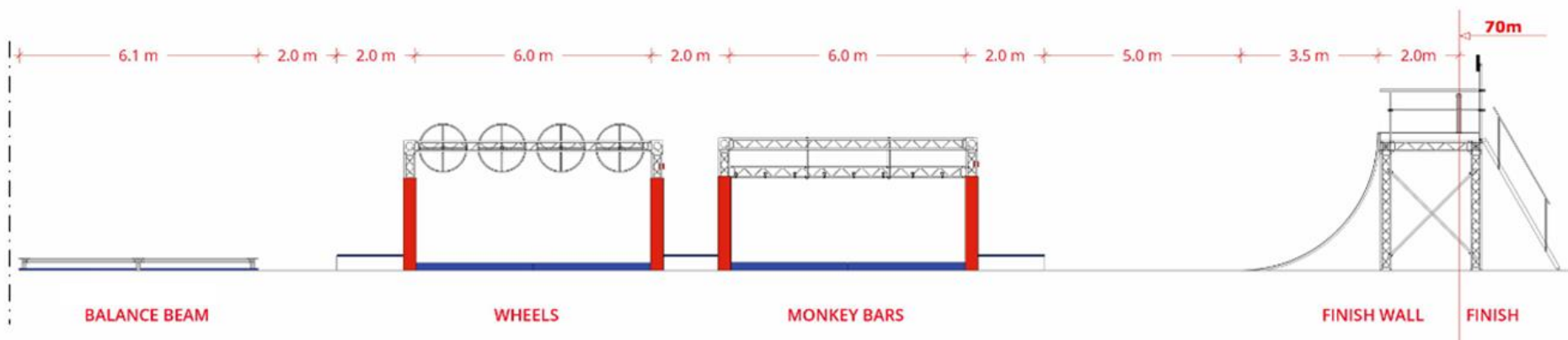


U15、U17、U19の競技会

	障 害 物
1	ステップ
2	ビッグホイール
3	オーバーアンダースルー
4	リング
5	バランスビーム
6	ホイール
7	モンキーバー
8	フィニッシュウォール



HACK 1 ELEVATION - 1
scale: 1:100





(4) 準拠すべき事項

- * UIPMの規定（ロゴマーク）に沿ったユニフォームを使用

- ※背中には自身の名前、NFコードが必要

- * サングラス・メガネは安全バンド等を使用する

- * 手袋、リストバンド、テーピングは**使用不可**

- ※ただし、関節を固定しない医療用テーピングは使用可能

- * 装飾品（指輪、ネックレス、ピアス等）は装着禁止

- * スパイク付きシューズの使用禁止

- * チョーク等のすべり止めは使用禁止

- * 医療用テーピングは許可（関節を跨がないように注意）

(5) ペナルティが課せられるケース

- * スタート合図より早くスタートを行う（-10P）

- * 同一障害を2回失敗した場合は、競技終了（失権）

- * トラス等に接触し、利益を受けた場合（最初は警告）

- * 他の選手の走行を妨害した場合（失権又は失格）

- * レーンを間違えて走行した場合（失権）

- * 身に着けていた物を競技場内に故意に放置する（-10P）



補足説明：医療用テープのみ使用可とし、その主目的は手の皮膚の裂傷（例：水疱、裂傷）を保護するものである。医療用テープは、手首と手の関節間に接続を生じさせない場合に限り使用可能。テープは手のひら、指、親指、手首を囲むように貼付できるが、手首・手・指の全関節は完全な可動性を保持し、動作範囲を制限しないこと。さらに、隣接する指や指節をいかなる方法でも連結してはならない。

DO



DON'T



オブスタクル競技の召集所で手に目に見える血痕を示す選手は、競技の開始前に医療テープでその痕跡を覆う必要があります。

Offences	Article	Penalty
初めて障害物に失敗する	3.7.1 i)	警 告
アスリートの体のどの部分と垂直トラスまたはクラッシュマットレスとの接触が初めて発生することは、3.4.4 iii)に記載された状況を除いて、いかなる形でも禁止されます。	3.7.1 ii)	警 告
衣服/装備のガイドラインに違反する	3.7.2 i)	10ポイント
ゼッケンの規格を変更する	3.7.2 ii)	10ポイント
不正スタート	3.7.2 iii)	10ポイント
コースに沿って衣服、器具、またはゴミを故意に捨てること。	3.7.2 iv)	10ポイント
同じ障害物での二度目の失敗	3.7.3 i)	失 権
障害物に関する警告の後、アスリートの体のどの部分と垂直トラスまたは同じ障害物のクッションマットとの接触は、3.4.4 iii)で説明されている状況を除いて、いかなる形でも禁止されます。	3.7.3 ii)	失 権
障害物を克服するために、他のアスリートのレーンを横切り、走り込むこと	3.7.3 iii)	失 権
リレーでの不正確な交代	3.7.3 iv)	失 権
カメラ、電話、またはその他の禁止されたデバイスの使用	3.7.3 v)	失 権
手に手袋、テープ、チョーク（マグネシウム）またはその他の粘着性物質を使用すること	3.7.3 vi)	失 権
障害を克服しようとしたが失敗した後、審判員からの指示に従わなかったこと	3.7.3 vii)	失 権
他のアスリートを押しのけたり、走り回ったり、妨害したりすること	3.7.4 i)	失 格
機器規則に従うことを拒否する	3.7.4 ii)	失 格
あからさまに早すぎる開始を試みる	3.7.4 iii)	失 格



競技役員

(1) オブスタクルディレクター

- ・すべての関係役員の任命、及びそれらの活動の調整と管理を含む、オブスタクル競技の全体的な正しい実施に責任があります。
- ・進行中のイベントに関連してアスリート/リレーチームの代表者から受け取った口頭での抗議について裁定する権限があります。

(2) 記録員

- ・競技中、すべてのワークシートの記載責任があります。

(3) コールルーム審判

- ・各ヒートの前にアスリートを組合せを確認します。
- ・ユニフォームやアクセサリをチェックし、手に無許可の物質が含まれているなど、不正な装備を持つアスリートがスタートに進むことがないように確認します。
- ・各アスリートがスタート番号を取り付けるために安全ピンを使用していないことを確認します。
- ・各ヒートの前に、アスリートがスタートの準備ができていることを確認する責任があります。



(4) コース審判

- ・ オブスタクルディレクターによって配置され、近接して最適な監察が保証されます。
- ・ 選手が障害物に初めて失敗した場合、コースジャッジは直ちにイエローフラッグを掲げ、大声で「フェイル」と呼びかけ、競技選手が反則が発生したことを理解していることを確認するものとし、これは警告に相当する。同じ障害物で2回目の失敗が発生した場合、ジャッジは赤旗を掲げて「ストップ」の声を出して、アスリートの敗退を確認する必要があります。
- ・ 各レーンには2人のジャッジが必要で、それぞれが8つの障害物のうち4つをカバーします。さらに2人のジャッジが必要で、1人はフィニッシュウォールの両側に配置され、選手が最後のジャッジの前に障害物をクリアできなかった場合に備えています。彼らの役割は、旗を掲げ、アスリートが壁を登り始める前に止める準備ができていることです。
- ・ コース審判の旗は、寸法が25x25cm(±5cm)でなければならない。

(5) スターター

- ・ 競技開始までの間、アスリートを完全に制御し、レースの開始に関連する潜在的な違反の唯一の判断者です。
- ・ 選手がスタートする予定の選手にスタートの合図を送る責任があります。
- ・ フォールススタートペナルティを適用する責任があります。



(6) 計測員

- ・アスリートのタイムを記録する責任があります。ストップウォッチまたは手動操作の電子タイマーを使用する必要があります。自動計時を使用するかどうかにかかわらず、常に少なくとも2人のタイムキーパーがいるべきです。

(7) フィニッシュウォール審判

- ・電子計時に失敗した場合、または手動計時が使用された場合に、アスリートの到着順序を判定する責任があります。
- ・フィニッシュウォールの順番を維持し、選手のレーンが交差するのを避ける責任があります。
- ・壁への試技について、許可または制止を判断するとともに、アスリートがフィニッシュウォール構造物から安全に降りる状態にあることを確認します。



3 水 泳

(1) 競 技

- 100m自由形
- スタートリスト

予選：PWRの水泳記録で編成

セミファイナル及びファイナル：水泳競技前までの
得点の高い者が最終ヒート
レーン順は得点の高い順



R1 R2 R3 R4 R5 R6

1	2	3	4	5	6	7	8

(2) プールのオープン

最初の競技開始時刻の60分前までにオープン

(フェンシング競技の最初の選手がスタートする時刻から)

(3) 1分10秒=250点(0.2秒±1点)



(4) 準拠すべき事項

*Finaの規定（ロゴマーク）が入った水着を使用

※ペンタスーツは例外で使用可能

*スターターの合図に従う

*競技進行を妨げる行為を行わない

*テーピング等を施して競技する場合は医師の許可が必要



(5) ペナルティが課せられるケース

*スタート合図より早くスタートを行う（-10P）

*スタート及びターン時に15m以上潜水する（失権）

*途中で止まり、プール底を蹴って再スタートする（失権）

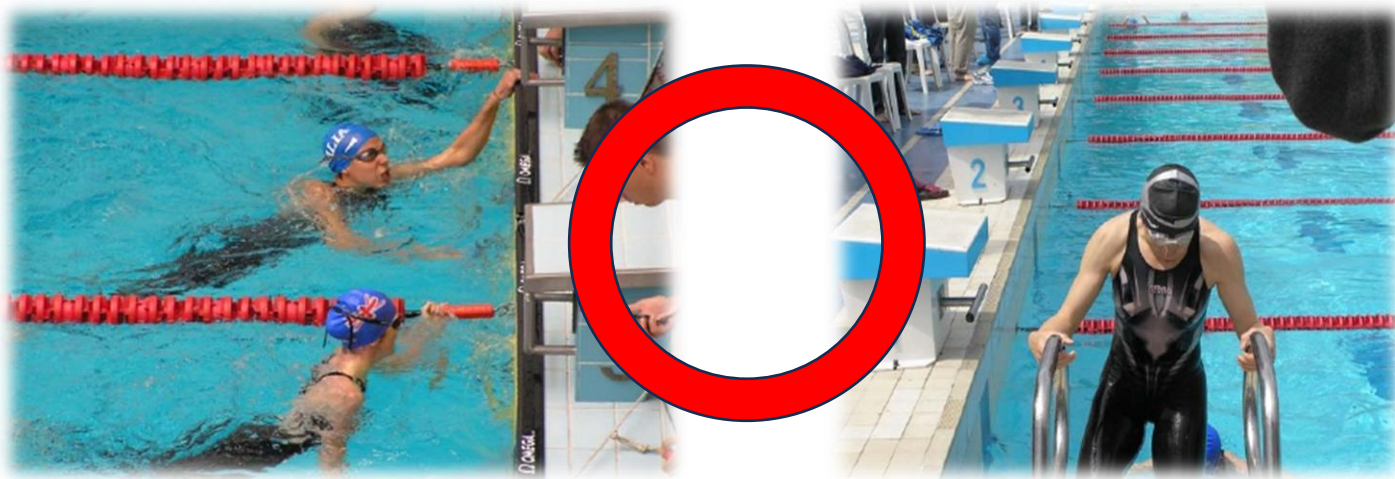
*フィニッシュ後、審判の合図前に自身のレーンを離れる（-10P）

*フィニッシュ後、正面から上がる（-10P）

(6) 年齢カテゴリー別競技距離等

Age	Individual	Relay	250 pts	Each 0.20 sec
Senior, Junior Under 19, Under 17, Under 15, Under 13	100 m	2 x 50 m	1:10.00	+/- 1 point

Age	Individual	Relay	250 pts	Each 0.50sec
Under 11, Under 9	50 m	2 x 25 m	0:45.00	+/- 1 point



The pentathlete infringes the rules and is penalised for:	Article	Penalty
プールの底に足を着く。	4.6.1 i)	近代五種 10ポイントの減点
ターン時にプールの端に触れない。	4.6.1 ii)	
レーンを離れる命令が出る前に、泳ぐレーンを離れる。	4.6.1 iii)	
前側から水を離れる。	4.6.1 iv)	
最後のヒートが終わった後、審判長の許可を待たずに水に入る。	4.6.1 v)	
スタート信号の前にスタート動作を始めること、または「テイク・ユア・マークス」の合図後、スタート信号の前に水に飛び込むことや落ちること。	4.6.1 vi)	
UIPMロゴパッチの欠落または不適切な配置。	4.6.1 vii)	失 権
15メートル後に水面に浮上しなかった。	4.6.2 i)	
スタートを遅らせる、命令に故意に従わない、またはスタート時に発生するその他の不正行為。	4.2.3 ii) 4.6.2 ii)	
「テイク・ユア・マークス」の前に水に飛び込んだり落ちたりする。	4.4.1ii) 4.6.2 ii)	
リレーでの不適切な交代。	4.6.2 iv)	
水泳中に選手のスピード、浮力、持久力を助ける可能性のある他のデバイス、例えば水かき手袋、足ひれ、フィンなどを使用すること。	4.6.2 iii)	
故意に、意図を持って、他の五種選手を押ししたり横切ったり妨害したりして、彼らの進行を妨げたり、意図的に早くスタートを切ろうとすること。	4.6.3 i)	失 格 チームの失権
油やグリースを使用する。	4.6.3 ii)	
規定の水着を着ることを拒否する。	4.6.3 iii, 4.7	

(注：説明と適用については、4.6を参照してください)



競技役員

(1) 水泳ディレクター

- i) 前述のすべての職員を任命し、すべての職員の活動を管理および調整する責任を負います。
- ii) 進行中のイベントに関する五種選手やチーム代表者からの口頭の抗議について決定します。

(2) 審判長

- i) UIPM競技規則の施行に対する責任を負い、すべてのUIPM規則の遵守を確保するために、イベントのいかなる段階でも介入することができます。
- ii) 自動審判装置が利用可能で稼働している場合、装置の判定によって順位を決定します。自動審判装置が使用されない場合、着順審判の決定と記録された時間が一致しないときに順位を決定します。
- iii) 各ヒートの開始時に、号笛の短符数回を発し五種選手に対して水着以外のすべての衣服を脱ぐように促し、その後、号笛の長符一声でスタートブロックに位置を取るよう指示します。
- iv) 五種選手と役員がスタートの準備が整ったとき、選手たちがスターターの管理下にあることを示すために、腕を伸ばしてスターターに合図します。
- v) 前ヒートからすべてのデータが収集された後、計時員に「クリアウォッチ」の合図を送ります。



(3) スターター

- i) 審判が五種選手を彼に引き渡した時から、五種選手を完全にコントロールします。
- ii) 五種選手がスタートを遅らせたり、命令に故意に従わなかったり、スタート時に発生したその他の不正行為があった場合は、審判長に報告する。
- iii) スタートが公正であるかどうかを決定する権限を持ち、審判長の管理のみに従います。スタート信号が発せられた後、スターターは自分の意見を変更してはならず、五種選手を呼び戻してはなりません。
- iv) タイムキーパーが見えるように、五種選手がスタート信号を聞こえるように、プールの端から約5メートル以内の位置に立たなければなりません。

(4) 折返し監察主任

- i) イベント中に折返し監察員がその職務を果たすことを保証します。
- ii) 違反が発生した場合は報告を受け取り、速やかに審判長に報告を提出します。

(5) 折返し監察員

- i) プールの端で2つのレーンを担当し、五種選手がターンの関連ルールについて監察します。
- ii) 違反をターンの折返し監察主任に報告します。



(6) 召集員

- i) 各ヒートの前に五種選手を集めます。
- ii) 水着をチェックし、規定違反の水着を着用した五種選手がスタートに行くのを防ぎます。
- iii) オイルや他の脂肪溶液を体を使用した五種選手は、スタートに行くことを拒否します。
- iv) 各ヒートの前に五種選手がスタート準備が完了していることを確認する責任があります。

(7) 着順判定員

- i) 五種選手の着順を記録します。

(8) 計時主任

- i) プールのスタートエンドで全ての計時員の配置を割り当て、彼らが担当するレーンを指定します。
- ii) イベント中に時計が作動しなかったり停止したりした計時員を交代させるために、予備計時員を2名指名し、いずれかがその計時員の代わりを務めるよう指示しなければならない。
- iii) 各計時員から記録された時間を示すカードを集め、必要に応じて彼らの時計を検査します。
- iv) 各レーンの記録用紙に公式な時間を調べて記録します。



(9) 計時員

すべての公式UIPM競技会では、各レーンに少なくとも2人の計時員が任命されなければなりません。計時員の責任は次のとおりです。

- i) 五種選手のレーンでのタイムを計測する。
- ii) スタート信号で時計をスタートさせ、五種選手が自分のレーンでプールの端に触れたときに停止させ、レースを完了したことを示します。
- iii) 各レーンの記録用紙に時計の時刻を記録し、要求があれば時計を検査のために提示してください。
- iv) 「クリアウォッチ」の合図を受け取るまで、時計をクリアしてはいけません。
- v) プールの端で折返し監察員として行動する。

(8) アナウンサー

アナウンサーは五種選手と観客にイベントの進行状況を知らせます。特に、アナウンサーは各ヒートの前に選手を紹介し、前のヒートの五種選手の水泳タイムを放送し、フライングを発表し、最後のヒートの後に二つの競技の結果を発表します。



4 レーザーラン

(1) 競 技

- ・ 600mRun + 5発命中 (射撃5回 × 600mラン5回)

(射 + 600ラン + 射 + 600ラン + 射 + 600ラン + 射 + 600ラン + 射 + 600ラン)

- ・ ラストペナルティエリア : 300m~400mに設置

- ・ スタート : ハンディキャップスタート

1分30秒以上差の選手は1分30秒後に一斉スタート

(2) レンジオープン

- ・ 予選 : 少なくとも20分前にオープン

- ・ セミファイナル及びファイナル :

最初の競技開始時刻の60分前にオープン

- ・ セミファイナル及びファイナルではスタート10分前から7分間W-up

- ・ コーチは : 予選ではスタート10分前

セミファイナル及びファイナルは5分前にレンジを離れる

- ・ W-upはスタート3分前に終了

(3) 13分20秒 = 500点 (1秒 ± 1点)





(3) 年齢カテゴリー別ランニング距離

INDIVIDUAL				
	Running Sequences	Total Distance	Shooting Sequences	Target Distance
Under 9	2 x 300	600 m	2 x 5 hits	5 m (both hands)
Under 11	2 x 300	600 m	2 x 5 hits	5 m (both hands)
Under 13	3 x 300	900 m	3 x 5 hits	5 m
Under 15	3 x 600	1800 m	3 x 5 hits	5 m
Under 17	4 x 600	2400 m	4 x 5 hits	10 m
Under 19	5 x 600	3000 m	5 x 5 hits	10 m
Juniors	5 x 600	3000 m	5 x 5 hits	10 m
Seniors	5 x 600	3000 m	5 x 5 hits	10 m

RELAY				
	Running Sequences	Total Distance	Shooting Sequences	Target Distance
Under 9	2 x 2 x 300	1200 m	2 x 2 x 5 hits	5 m (both hands)
Under 11	2 x 2 x 300	1200 m	2 x 2 x 5 hits	5 m (both hands)
Under 13	2 x 2 x 300	1200 m	2 x 2 x 5 hits	5 m
Under 15	2 x 2 x 600	2400 m	2 x 2 x 5 hits	5 m
Under 17	2 x 2 x 600	2400 m	2 x 2 x 5 hits	10 m
Under 19	2 x 3 x 600	3600 m	2 x 3 x 5 hits	10 m
Juniors	2 x 3 x 600	3600 m	2 x 3 x 5 hits	10 m
Seniors	2 x 3 x 600	3600 m	2 x 3 x 5 hits	10 m





(4) 準拠すべき事項

- * UIPMの規定（ロゴマーク）に沿ったユニフォームを使用

 - ※背中には自身の名前、NFコードが必要

- * ピストルの重量制限はない。

- * ピストルサイズは、内寸420mm×200mm×50mmのBOXに収納可能

- * 競技進行を妨げる行為を行わない

(5) ペナルティが課せられるケース

- * スタート合図より早くスタートを行う（+10S：最初の射撃）

- * テーブルに身体を接触させて射撃を行う（1回目Y, +10S）

- * 射撃と射撃の間、銃がテーブルに接触しない（1回目Y, +10S）

- * 5発命中していないのに50秒経過前にランニングを開始する

 - （※4発：失権、3発以内：失格）

- * 定められた射座で射撃を行わない（失権）

- * ランニングコースを逸脱する（失権）

違 反	ルールの	罰 則		
		1回目	その後	Paid at
服装規定に違反する	5.6.1 i	10*		PG
番号ゼッケンの寸法を変更する	5.6.1 ii	10*		PG
不正なスタート	5.6.1 iii	10*		SL
W-UPや射撃シリーズの後にピストルをテーブルに安全に置かなかった	5.6.1 iv	警 告	10*	SL or LPA
各ショットの間に射撃テーブルに触れないこと	5.6.1 v	警 告	10*	SL or LPA
指定されたコーチエリアの外でのウォームアップ中のコーチの支援	5.6.1.vi	警 告	10*	PG
公式ウォームアップ時間が始まる前に、箱の中にピストルがないこと	5.6.1 vii	警 告	10*	PG
テーブルに触れず、両足を地面につけて自由に立っていない	5.6.1 viii	警 告	10*	SL or LPA
コースを完走しないこと	5.6.2 i		失 権	
意図的であれ無意識であれ、走路からの逸脱	5.6.2 ii		失 権	
無許可の支援	5.6.2 iii		失 権	
未承認のピストルの使用	5.6.2 iv		失 権	
誤った標的への射撃	5.6.2 v		失 権	
審判の指示で最後のペナルティエリアで止まらないこと	5.6.2 vi		失 権	
競技シリーズ中に連続照射ビームを使用したり、準備やウォームアップ時間外での音声通信を行うこと	5.6.2 vii		失 権	
両手でピストルを持つか、拳銃した腕を支える	5.6.2 viii		失 権	
リレーでの不適切な交代	5.6.2 ix		失 権	
「5つの緑の信号」を点灯させず、射撃シリーズを完了する前に、4つの緑の信号だけで走り始める	5.6.2 x		失 権	
承認されたピストルの修正または調整	5.6.3 i		失 格	
承認されていないピストルとの交換	5.6.3 ii		失 格	
あまりにも早すぎるスタートの露骨な試み	5.6.3 iii		失 格	
他のアスリートを押しのけたり、走り回ったり、妨害したりすること	5.6.3 iv		失 格	
「3つ（またはそれ以下）の緑の信号だけで、射撃シリーズ（「5つの緑の信号」）を完了する前に走り始める。」	5.6.3 v		失 格	

PG – Penalty Start Gate; SL – Shooting Line; LPA – Last Penalty Area

第5.6.1条ivおよびviiの違反に対する罰則は、最終シューティングシリーズで犯された場合、ラストペナルティエリアで科せられます。



競技役員

5.2.1 レーザーランディレクター（LOCが任命）

- i) 2人の副レーザーランディレクター（ランニングとシューティング）を任命します。
- ii) レーザーランの全体的な正しい実施に責任があります。
- iii) 五種選手がウォームアップを始めることを許可します。

5.2.2 射撃ディレクター（副レーザーランディレクター）

- i) レンジオフィサー、射座審判員、標的主任、機器管理担当者等、射撃場の人員を任命し、監督する。
- ii) 射撃競技の正しい実施。
- iii) 指定されたレンジオフィサーと連携して、機器の故障を迅速に修正し、レンジを運営するために必要な専門家と資材が利用可能であることを確保する。
- iv) 射撃場でのウォーミングアップ終了1分前及び30秒前であることを五種選手とコーチに通知し、競技開始の3分前に終了します。
- v) 報告されたすべての不正行為と罰則をTD/NTOに伝える。

5.2.3 レンジオフィサー（9から12の射座毎に1人を任命し、責任を負う）

- i) 五種選手が正しい射座と標的を使用しているか確認する。
- ii) 五種選手の名前とスタート番号を確認し、レーザーランのスケジュール、スタートリスト、スコアカード、射撃場の登録に適合していることを確認する。
- iii) 五種選手の服装（名前、番号、アームレット、ヘッドフォンなどのシャツ）を管理する。
- iv) 可能な武器チェックと競技後の検査を実施するのを支援する。
- v) 五種選手が正しい射撃姿勢を取っているか確認する。
- vi) 五種選手が他の五種選手を妨害しないように確認する。
- vii) 射撃場で五種選手に課せられた10秒のペナルティを（射座審判員と協力して）適用及び確認する。
ペナルティを適用する前に、審判員2名以上で違反行為を確認し、TDから承認を得る必要がある。
- viii) ターゲットの正しい操作を監督する。
- ix) 射撃場での秩序を維持し、安全に特に注意を払う。
- x) すべての不正行為、混乱、罰則の記録を確実にする。
- xi) すべての不正行為と罰則を射撃ディレクターに伝える。

5.2.4 標的主任

- i) 競技前に射撃ターゲットを準備します。
- ii) 競技全体を通して射撃ディレクターを支援する。
- iii) ピストルテストを支援し、武器検査員を助ける。



5.2.5 射座審判員

射撃ディレクターは、カテゴリーA競技の各射座に1人の射座審判員を任命し、他のすべての競技では2つの射座毎に1人の射撃審判員を任命しなければなりません。

- i) 発射されたすべての弾着を観察する。
- ii) 各五種選手がレーザーピストルを使用して、各射撃の間にピストルで射撃テーブルに触れることを確認にする。
- iii) 各射撃シリーズの後、ピストルが安全であることを確認します。レーザーピストルは、触れられず、射撃テーブルに置かれ、射撃方向を向いていれば安全です。
- iv) ルールの違反があった場合は、直ちに射撃ディレクターに通告する。
- v) 射座で五種選手に課せられた10秒のペナルティを確認するために、レンジオフィサーと協力して適用する。
- vi) すべてのピストルモデルにおいて、最初の試みのショットでストップウォッチをスタートします。射座審判員は、ターゲットのライトが最初のショットを示さない場合、五種選手に通告しなければなりません。射座審判員は、50秒の制限時間が切れる5秒前に「射座XX番、残り5秒」と言って五種選手に通告し、50秒の制限時間に達した時「射座XX番、ランニングスタート」と指示を出す。

5.2.6 ランニングディレクター（副レーザーランディレクター）

- i) コース監察員、場内統制員、スターター、副スターター、スターター補助員、着順審判員、計時員、記録係、アナウンサー、ペナルティストップエリア審判員等、すべてのランニング役員を任命し、活動を調整する。
- ii) コースの設営とイベントの運営を監督する。
- iii) UIPMルールに従って、コースまたはトラック及びマーケティングバナーを含むすべての機器が整っていることを確認する。
- iv) UIPMルールが遵守されることを確保します。ランニングディレクターは、これらのルールに違反した五種選手や他の人に対して罰則を科す権限を持っています。
- v) スタートエリア、射撃場のペナルティ、及びラストペナルティストップエリアからのペナルティの適用を調整するために特別役員を任命する。

5.2.7 コース監察員

コース監察員はランニングディレクターの助手です。彼らには最終決定を下す権限はありません。彼らはランニングディレクターによって配置され、走行を注意深く監察できるようにされています。ファウル、コースからの逸脱、無許可の援助、またはこれらのルールに対するいかなる違反があった場合、彼らは直ちに口頭でランニングディレクターに報告し、その後書面で報告する。



5.2.8 場内統制員

場内統制員はスタート/フィニッシュエリアと射撃場エリアの完全な管理を行います。場内統制員は、役員及び競技する五種選手以外の人が入ったり、留まったりすることを許可してはいけません。場内統制員は1人以上のアシスタントに支援されることができます。

5.2.9 スターター

スターターは、選手がスタート位置にいる間、五種選手を完全に管理し、レースのスタートに関連する事実の唯一の判断者です。スターターは、自分自身、計時係、代理スタート係の時計を同期させ、スタート前に残り時間を知らせ、最初の五種選手がスタートする際にスタート信号を出す責任があります。スターターは、フライングスタートのペナルティを適用し、ランニングディレクターに通告し、ランニングディレクターはアナウンサーに通告します。

5.2.10 副スターター

各スタートラインに1人ずついる副スターターは、スターターの下にあります。副スターターは五種選手と身体的接触を持ってはいけません。彼らの任務は、各五種選手が時間通りにスタートすることを確認にすることです。

5.2.11 スターター補助員

スタート補助員は、各スタートラインごとに1人ずつ配置され、スタートレーンにいる五種選手を確認し、選手が正しい順序で、適切な時間に、正しい服装を着用し、正しい名前と国コードを持ち、前後に番号が適切に取り付けられていることを確認しなければなりません。これらのルールに違反した場合は、直ぐにランニングディレクターに通告する。

5.2.12 着順判定員（2）

着順判定員は、五種選手のゴールラインでの到着順を登録する責任があります。独立して作業する2組の2人の審判（着順判定員+ 計時員）が必要です。

5.2.13 計時員（2）

計時員は、ストップウォッチまたはデジタル表示の有無にかかわらず手動操作の電子タイマーを使用しなければなりません。これらのルールの目的上、すべてのタイミングデバイスは「時計」と呼ばれます。自動計時が使用されるかどうかにかかわらず、常に2人の計時員が必要です。



5.2.14 アナウンサー

アナウンサーは、レーザーランに参加する五種選手の名前と番号、及び中間タイムなどの関連情報を公に知らせる責任があります。アナウンサーは、イベントの開始までのカウントダウンの最初の部分を出発の1分前まで放送し、その後のカウントダウンはスターターの管理下に置かれます。結果（順位、タイム、ポイント）は、情報を受け取った後、できるだけ早く発表しなければなりません。

5.2.15 ペナルティストップエリア審判員

最後のペナルティストップエリアでは、2人の審判が射撃場の終わりから300～400mの間に位置する特別なペナルティエリアに待機し、射撃ステーションでは適用できないペナルティを適用する準備をしています。

5.2.16 武器検査員

武器検査員は、UIPMレーザー専門家の指導の下でレーザー射撃機器を検査、測定、確認し、武器やその他の射撃機器および衣類をテストしなければなりません。